



TRAM SYSTEM

NEWS LETTER

Ver. 2014. 02

今月のコンテンツ



タブレット端末

◎ 自動車メーカー アウディがタブレット端末を発表

- ・自動車メーカーの狙いは？



IoT

◎ 進む「IoT」技術

- ・積水ハウスが「IoT」技術で医療分野に参入
- ・ロボット+「IoT」で空飛ぶセキュリティ

1 50 POL Kamil STOCH (26) 278.7

2 48 JPN Noriaki KASAI (41) 277.4

3 49 SLO Peter PREVC (21) 274.8

4 46 GER Severin FREUND (25) 272.2

5 28 NOR Anders FANNEMEL (22) 264.3

6 39 GER Marinus KRAUS (23) 257.4

7 47 AUT Gregor SCHLIERENZAUER (24) 255.2

8 29 AUT Michael HAYBOECK (22) 254.7

9 38 JPN Daiki ITO (28) 252.5

10 21 JPN Reruhi SHIMIZU (20) 252.2

葛西選手(41)、スキージャンプで銀メダルとりましたね！

スキーのメッカ北欧では自国の選手以外で一番有名な選手が葛西選手だそうです。日本でも今では「レジェンド 葛西」と呼ばれていますが、元々北欧でそう呼ばれていたのが日本でも呼ばれるようになったんだとか。

面白いデータがあるので左図をご覧ください。葛西選手が銀メダルを取った時の1位～10位の選手の年齢がわかります。

葛西選手以外全員が20代で、3位と10位の選手に至っては彼らが生まれる前のオリンピックに葛西選手が出ているという驚きの結果に。

「レジェンド」と呼ばれる所以ですよ～・・・。

◎ 自動車メーカー アウディーがタブレット端末を発表

・自動車メーカーの狙いは？

2014年1月に開催された国際家電見本市「CES2014」では、家電メーカーに交じて自動車メーカーのアウディーが、自社ブランドのタブレット端末「Audi Smart Display(以下ASD)」を出展していました。

車ではナビやオーディオとして、車外ではタブレットとして使えます。今回のデモとしてナビに採用されているのはなんとGoogle Earth。実写でのルート案内が可能なわけです。新しく出来た道にも即座に対応してくれるのはありがたいですね。

ASDの取り外しも簡単で、LTEによる高速モバイル回線の利用も可能ですから、常にネット接続できることになります。



ちょっと盗まれやすそうな気がしないでもないですが・・・。

アウディーはGoogleやホンダ・GMなどのメーカーによって結成された「Open Auto Alliance(OAA)」という、Androidを自動車に活用するIT連合プロジェクトに参加しています。ASDはその成果の先駆けといったところですね。

今後、他の自動車メーカーからも専用タブレットが出される可能性は高く、そうなるとタブレットに各自動車メーカーのロゴが付くわけです。タブレットにベンツのマークとか付いたらと思うとちょっとワクワクしますね。

◎ 進む「IoT」技術

・積水ハウスが「IoT」技術で医療分野に参入

IoT (Internet of Things) とは端的にモノのインターネットと呼ばれており、従来パソコンやサーバー等のIT関連機器に接続されていたインターネットにそれ以外の様々な「モノ」を接続させる技術です。

大手ハウスメーカーの積水ハウスが2013年東京モーターショーで「IoT」を活用した「ウェアラブルセンサー」を発表しました。

その中身は、右図のセンサーを肌に装着することで、心拍数や呼吸数などを測定し、インターネット経由でシステム管理するというものです。

← 約 11cm →



お風呂とか付けたまま入れるんですかねえ・・・



種類も色々

CMでよく見る ルナルナ と連動できるようです

測定する項目は歩数計やカロリー消費率、表皮体温、姿勢、など多岐に渡り、装着者が急に倒れたら心拍数などと合わせて危険性を判断します。危険性が高い場合はインターネット経由で即座に家族に通知したり、救急車を呼んだりすることで、救命率を高められるとしています。

IoTを活用した健康管理サービスは、近年相次いで発表されています。SONY・米NIKE・docomoからはリストバンド型のウェアラブル端末が発表されています。

この分野にはベンチャーの参入も相次いでいます。モバイルサイト開発を手掛けるエムティーアイは2013年、髪留めとして利用できる活動量計「カラダフィット」を発売。ダイエット支援サービスに活用し始めました。

米IDCはIoTの市場規模予想を2020年で8兆9000億ドルと予測しています。今後あらゆるモノにインターネットが繋がっていくようですね。

◎ 進む「IoT」技術

・ロボット+「IoT」で空飛ぶセキュリティ



空飛ぶセコムがあらわれた！

セコムは2015年3月までに、「小型飛行監視ロボット」の実用化を目指しています。

直径は70cm程度で4つのプロペラを備え、GPSとジャイロセンサー、気圧センサーなどで情報を収集しつつ自律飛行します。

Wi-Fi通信機能を搭載し、セコムの監視センターとリアルタイムで情報をやり取りします。

まずは自宅や工場などに設置したセンサーで不審者の侵入を検知し、3次元の位置情報を無線で飛行ロボットに通知します。飛行ロボットが異常と判断したら自動で離陸し、レーザーセンサーで侵入者との距離を測定しながら接近していきます。

侵入者に反撃されないよう、一定の距離を保ちながら上空から監視し、動画や画像を撮影します。

撮影した画像はインターネット経由で送信し、監視センターに常駐するセコムの警備担当者が確認。危険が迫っている場合は警備員を即座に現場へ派遣させます。

夜中にいきなりこんなのが現れたら腰抜きそうですね。ただちょっと投てきに弱そうな感じもしますが…。



世界初の自律型飛行監視ロボットになるそうです



トラムシステム株式会社

〒465-0063

愛知県名古屋市名東区新宿2丁目55番地

TEL:052-701-2634

FAX:052-701-2637

Mail : info@tramsystem.jp